

令和7年度事業計画について

事業運営方針

令和6年3月29日付で、岐阜観光コンベンション協会は、観光庁より「観光地域づくり法人（DMO）」の候補法人として登録されました。令和6年度は、本登録に向けた体制の整備に取り組み、地域の宿泊事業者や交通事業者、商工業事業者など、多様な関係者が参画する「未来の岐阜ツーリズム会議」を設置するとともに、DMO登録申請時にターゲットとして掲げた「本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客」「日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客」「MICEに参加して岐阜市を訪れる団体」「名古屋都市圏を中心としたアクティブな若年層」に対する取り組みを調査審議するための部会を設置し、観光地域づくりに向けた協議を始めたところです。

また、観光地域づくりを進めるうえでは、データに基づく戦略の策定等が必要であり、チーフ・マーケティング・オフィサー（データ収集・分析等の専門人材）を新たに雇用し、今後の誘客に必要なデータの収集・分析を始めました。DMO登録を機に、岐阜市の宿泊客の動向やWEBサイトの閲覧状況等を「岐阜市観光レポート」にまとめ、毎月発行することとしたほか、観光地域づくりを進めるために必要な各種データを、前述の未来の岐阜ツーリズム会議やその専門部会で共有し、地域の多様な関係者と協議を始めたところです。今後は、これらのデータを有効に活用し、地域の多様な関係者と連携した誘客を進めてまいります。

これらのほか、岐阜市においても宿泊税導入に向けた議論が進められています。県内においては、高山市と下呂市において、宿泊税に関する条例案が可決され、本年10月の導入を目指しています。宿泊税は、一定水準の収入を安定的に見込むことができるため、より一層の観光振興を進めるうえでも非常に大きな財源となることが期待されます。

令和7年度においては、宿泊税の導入も見据え、観光による地域経済の活性化及び持続可能な観光地域づくりが進むよう、観光地経営の視点を取り入れた体制づくりを強力に推進してまいります。

令和7年度の重点事業

【観光地域づくりの推進】

◆観光地域づくり法人（登録法人）に向けた取り組みの推進

- 令和7年度中のDMO本登録を目指し、地域の多様な関係者との合意形成の場として立ち上げた「未来の岐阜ツーリズム会議」及び「各専門部会」での協議を通じて、地域一体となった観光地域づくりを進める。
- 岐阜市が検討を進める宿泊税の導入（令和8年4月）を見据え、地域の多様な関係者と連携し、本市への誘客及び旅行消費額の拡大に必要な観光振興策を検討する。

◆データの収集・分析

- 訪日外国人観光客の誘客強化を図るため、人流データの収集・分析を始めとしたインバウンド関連のマーケティングを強化する。
- 更なる国内観光客の誘客につなげるため、各種観光展等でのアンケート調査のほか、市内の観光スポットでアンケート調査を実施し、誘客に必要なデータを収集・分析する。
- より適切な情報発信を行うため、観光情報の入手元を把握するとともに、WEBサイトやSNSの閲覧状況等を分析する。

【ターゲットに対する施策の推進】

第1ターゲット層

◆本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客

- お城好きや城郭ファンが集まる「お城EXPO2025」へ出展し、重点支援地域に認定された「日本遺産」や、新たに岐阜公園にオープン予定の「岐阜城楽市」を活用し、誘客促進を図る。
- 落ち込んだ宿泊者数を回復させるため、地域の様々な関係者と連携し、首都圏の旅行会社等へのセールスコールを実施する。
- SNS等を活用し、首都圏の観光客が求める情報を発信する。

第2ターゲット層

◆日本の歴史・文化が大好きな訪日外国人観光客

- JNTO主催の台湾で開催されるインセンティブ旅行商談会に参加し、訪日観光客の誘客を図る。
- 海外で開催される商談会に参加し、海外の旅行関係者に直接岐阜市の魅力をPRし、一般募集团体・インセンティブ団体等の誘致を図る。
- 関係する観光関連団体と連携し、在日の訪日旅行手配会社（ランドオペレーター/DMC）等を招請し、訪日外国人観光客の誘客を促進する。
- ホームページやSNS等を活用し、岐阜市の魅力を海外に発信するとともに、訪日外国人観光客に効率的、効果的に情報を届ける手法を研究する。

第3ターゲット層

◆MICEに参加して岐阜市を訪れる団体

- 岐阜市MICEタグラインを活用し、経済波及効果の高い国際会議等の誘致に取り組む。
- 地域の関係者を集めた岐阜市MICE誘致推進会議を開催し、MICE誘致に重要な要素であるユニークベニューやエクスカージョン・コンテンツの開発及び磨き上げを実施する。

第4ターゲット層

◆名古屋都市圏を中心としたアクティブな若年層

- 愛知県で初開催の日本最大の観光イベント「ツーリズムEXPOジャパン2025」に出展し、岐阜市への誘客を促進する。
- 積極的な各種商談会への参加や観光キャラバンを通じ、市内での宿泊者数増加を図る。
- 新たに岐阜公園にオープンする「岐阜城楽市」の運営会社等と連携し、本市への誘客を促進する。
- SNS等を活用し、名古屋都市圏の若年層が求める情報を発信する。

I 公益目的事業

1. コンベンション情報の収集、調査、分析事業 【予算額 775,000円】

1) コンベンション情報の収集

①首都圏での情報収集

- 首都圏に置かれている学会や協会、各種団体の事務局等に当協会職員が出張して継続的営業活動を行うほか、より効率的な情報収集及びプロモーションを図るため、他都市ビューロー等と連携して営業活動を実施する。

②広域的な情報収集

- 日本政府観光局（JNTO）や一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）、一般社団法人日本コンベンション協会（JCM A）等、コンベンション関連団体が主催する各種会議や勉強会、セミナー等（リモート開催を含む）に参加し、コンベンション情報の収集に努めるとともに業界内でのネットワークを構築する。
- 協会が賛助会員となっている各種協議会やその他MICE関連者が主催する講演会等に参加し、コンベンションに係る最新の情報収集を行う。

2) コンベンション情報の調査、分析 (775,000円)

- コンベンション誘致の基礎となるJCCB会議開催調査データ・ライブラリーやJNTO国際会議統計データ、コンベンション管理システム等を積極的に活用し、誘致に資する情報の収集・管理及びこれを活用した効率的な営業活動を実施する。

※ J N T O 国際会議統計（データベース）の活用

過去に日本で開催された国際会議案件を抽出し、将来的に岐阜市誘致・開催の可能性ある案件をターゲット・コンベンションとして絞込み、理事（地元大学教授等）への継続的アプローチを展開する

- 各種商談会や加盟団体、コンベンション団体が有するリスト等を活用し、コンベンション開催主催者等へのアンケートを実施することで、主催者のニーズ等を調査するとともに、岐阜市で開催したM I C E 主催者等へのアンケート調査により、満足度や要望を把握し、今後の誘致・開催につなげる。
- 長良川国際会議場やじゅうろくプラザ等、市内のM I C E 施設や宿泊施設と定期的に情報交換を行い、仮予約等の案件を確実な開催につなげるよう、共同で誘致活動に取り組む。
- 「M I C E 予約成立件数」を集計し、先行受注状況を見極めるとともに将来的な誘致営業を実施する。

2. コンベンション振興に関する事業【予算額 4,844,000 円】

1) 国内コンベンション主催者に対する誘致活動 (2,413,000 円)

①定期的な誘致活動

ア 首都圏における誘致活動

- M I C E 誘致に資する各種イベント等に参加し、関係機関や各種団体との連携による誘致活動を実施する。
- 首都圏の学協会事務局やコンベンション企画運営会社（P C O）、旅行会社等を訪問し、情報収集や支援内容の周知等を図る。
- 日本地球惑星科学連合（幕張メッセ）、国際M I C E エキスポ（I M E）等首都圏で開催される誘致イベントを活用し、関係機関と連携して誘致活動を実施する。

イ 名古屋地区における誘致活動

- 名古屋地区のP C O、旅行会社、学協会事務局等を訪問し、情報収集や支援内容の周知等を図る。
- 名古屋大学、愛知医科大学等中部圏の大学への誘致活動を実施し、情報収集や支援内容の周知を図る。
- 名城大学で開催予定の応用物理学会秋季学術講演会に出展し、関連分野教授とのネットワークを拡大し、国内・国際会議誘致を促進する。
- 長良川国際会議場等に仮予約を入れた主催者等に対し、現地下見幹旋のサポート等、岐阜市開催決定に至るまでのフォローを徹底する。

ウ 岐阜地区での誘致活動

- 岐阜大学（医学部、工学部、応用生物科学部、グローバル推進機構 等）や岐阜薬科大学、朝日大学（歯学部）を引き続き重点オーガナイザーと位置づけ、定期的に訪問し情報収集を行うとともに、M I C E ガイドブックを活用し、支援内容や手続き等の周知を図る。
- 全国大会開催の業界団体県支部等の地元窓口を対象に、関係機関や関係団体等と連携して誘致活動を実施する。

②広域的な誘致活動

- 各種関係者と連携し、各種商談会を通じて岐阜市でのMICE開催・誘致を推進する。
- 地方7都市で構成する情報交換会に参画し、合同で主催する情報懇談会を通じて誘致活動を実施するとともに、7都市間で情報共有するデータベースを活用し、先行ターゲット営業を徹底する。

○情報交換会構成都市；(旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松山、鹿児島)

- 地方都市コンベンション協議会に参画し、首都圏での合同ワークショップや合同セールスに参加するほか、コンベンション情報共有システムの活用等を通じて学会・協会事務局関係者との関係強化を図り、コンベンション誘致を推進する。(2025年度；年間幹事都市)

○協議会構成地区；(新潟、郡山、宇都宮、松本、岐阜、びわこ、高松)

- 今後のMICE関連ビジネスの推進に資するパートナー企業及び組織との新たなネットワークを構築する。

③岐阜市MICE誘致推進会議の実施 **重点事業**

- 会場施設、宿泊施設、PCO、運輸機関等のMICE関係者や市内の大学関係者等を対象に、「岐阜市MICE誘致推進会議」を開催し、多様な関係者が一体となって、国際会議を含めたMICE誘致・開催のための戦略（アクションプランの策定、プロモーション活動の実施等）を検討しながら、関係者間の更なる連携強化を図る。

④国内キーパーソン視察受け入れ事業

- 商談会やその他誘致活動等において引き合いのあったコンベンション主催者などの国内キーパーソンの視察に際して、各種手配や案内等の受入支援を行うことにより、岐阜市におけるコンベンションの開催促進を図る。

⑤岐阜大学との連携協定推進事業

- JNTOが実施する「MICEアンバサダー」と連携し、国内外からのMICE誘致を拡大する。
- 岐阜ジョイントディグリーシンポジウム（産官学連携セッション）に出展し、留学生を通じて岐阜市の魅力を世界に発信することで観光コンベンションの誘致を推進する。
- 要望に応じて、インターンシップの受け入れを行う等、更なる連携強化を図る。

2) 海外コンベンション主催者に対する誘致活動 (691,000円)

①国際会議の誘致推進 **重点事業**

- 市内のMICE関係者と連携し、SDGsの取り組みを推進する。
- MICEタグライン（ロゴ・デザイン）を活用し、国際会議誘致に必要な、岐阜市のMICEブランド・メッセージを発信する。
- 観光庁の実証事業を活用し、岐阜市での国際会議誘致・開催を促進する。

② J N T O 海外事務所等の活用による誘致活動

➤世界 14 ヲ所にある J N T O 海外事務所や日本観光協会の海外事務所に対し、定期的に岐阜市の M I C E 関連情報を提供し、国際 M I C E 誘致を推進する。

- ・ J N T O 海外事務所: ソウル、北京、上海、香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント
- ・ 日本観光協会海外事務所: 台北

③ 応用物理学会秋季学術講演会 (J S A P E X P O A u t u m n 2025) への参加

➤名城大学で開催予定の応用物理学会秋季学術講演会に出展し、関連分野教授とのネットワークを拡大し、国内・国際会議誘致を促進する。

④ 国際 M I C E エキスポにおける国際会議の誘致

➤ J C C B、J N T O が主催する国内最大規模の商談会である「 I M E 2026」へ出展し、誘致活動と情報収集を実施する。

3) 会議、研修会 (140,000 円)

① J C C B 総会、委員会活動や研修・セミナーへの参画

➤ J C C B 及び J C M A ネットワークを最大限に活用し、当協会の人材育成及び組織力強化及び国内他都市コンベンション協会との不断の連携、観光庁及び J N T O とのネットワークを形成して、地方都市 M I C E 振興の一翼を担っていく。

- ・ J C C B 及び J C M A 総会 (6 月)
- ・ コンベンション・ビューロー部会 (1 月)
- ・ J C M A 人材育成委員会活動 (年間)
- ・ M I C E 関連担当者研修 (随時)

② 中部コンベンション連絡協議会への参画

➤広域的なコンベンションの振興を図るため、中部地区 17 団体に構成される「中部コンベンション連絡協議会」の定期協議会に参加し、コンベンション情報収集及び意見交換を図る。(9 月)

4) コンベンション誘致素材の活用や開発促進

① ユニークベニュー及びエクスカーション・コンテンツの開発及び活用 **重点事業**

➤岐阜市 M I C E 誘致推進会議を活用し、M I C E 誘致に重要な要素であるユニークベニュー及びエクスカーション・コンテンツの開発及び磨き上げに継続的に取り組む。

※ユニークベニューとは、歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のこと

② プレ・ポストプログラムの開発及び実施

➤コンベンション開催時のプレ・ポストプログラムの開発及び実施に向けた検討を行う。

※プレ・ポストプログラムとは、会議前後に開催される行事やイベントまたは自由行動としてのショッピングや娯楽等の活動のこと

5) 企業コンベンション関連事業 (1,600,000円)

①世界イベント村ぎふ企業コンベンション誘致協議会の運営

➤企業系ミーティング及びインセンティブ等の開催を支援するため、岐阜県や長良川国際会議場とともに、「世界イベント村ぎふ企業コンベンション誘致協議会」を運営し、MICE案件の支援や助成を行う。

- ・首都圏・東海・関西・北陸・静岡・長野地区等のPCOや旅行代理店等への訪問セールス
- ・岐阜市及び近郊の企業、大学、団体への訪問セールス
- ・「IME2026」での「企業内会議」、「報奨旅行」等の情報収集及び継続的な誘致活動の展開
- ・東海地区の旅行会社、PCOを対象とした招聘事業（世界イベント村ぎふ施設見学、長良川温泉旅館協同組合加盟施設への宿泊、ぎふ長良川の鵜飼体験、観光施設見学など）

3. コンベンションの支援に関する事業 【予算額 14,028,000円】

1) コンベンション開催助成 (12,015,000円)

コンベンション振興基金を活用し、岐阜市で開催される各種コンベンションに対し、規模や参加者数に応じ、助成金の交付や開催準備資金の無利子融資を行う。

①コンベンション開催助成金の交付

➤コンベンションの開催及び誘致を図るため、コンベンション開催主催者に対し助成金を交付する。
(対象:岐阜県を含む4県以上、参加者100名以上)

②スポーツ大会開催助成金の交付

➤スポーツ大会の誘致拡大を図るため、スポーツ大会主催者に対し助成金を交付する。
(対象:岐阜県を含む4県以上、参加者100名以上)

③小規模国際会議開催助成金の交付

➤小規模国際会議の開催及び誘致を図るため、コンベンション開催主催者に対し助成金を交付する。
(対象:日本を含む2ヶ国以上、参加者100名未満)

④無利子融資制度の運用

➤助成金交付対象のコンベンション・スポーツ大会主催者に対し、開催3年前から開催準備資金として、開催経費の10%以内100万円を限度に無利子融資を行う。

2) コンベンション開催支援 (2,013,000円)

➤開催に関する相談及び開催に伴い必要なパンフレット等の支援を行う。

①コンベンション主催者に対して

- ・パンフレット等の提供(主催者用)
- ・MICE誘致用プロモーション動画(日本の真ん中で話そう)の貸出し
- ・タクシー歓迎ステッカー掲示および共通チケット発行
- ・JR岐阜駅北口広場歓迎横断幕の掲出
- ・歓迎プラカードの貸出し

- ・土産品販売コーナーの出店案内取り次ぎ(場所:コンベンション会場等)
- ・法被の貸出し
- ・コンベンション施設、宿泊施設、地元関係業者の紹介
- ・アフターコンベンション同伴者プログラムへの協力
- ・観光ボランティア、通訳ボランティア等の紹介

②コンベンション参加者に対して

- ・手提げバッグ及び簡易ビニールバックの提供
- ・文化観光施設割引入場券の提供
- ・観光パンフレットの提供(日本語版及び外国語版)

4. 機関紙「G I F Uあんびしゃす」の発行【予算額 896,000円】

➤機関紙「G I F Uあんびしゃす」を年2回発行し、コンベンション主催者等に対し、当協会の事業内容を紹介するとともに、観光情報・コンベンション情報を提供する。

- ・発行月:7月(Vol.73)、1月(Vol.74)
- ・発行部数:3,000部×2

5. 観光客の誘致及び宣伝事業【予算額 13,882,000円】

1)国内観光客の誘致(4,684,000円)

①首都圏からの誘客促進 **重点事業**

➤「本物志向で岐阜に興味を持つ首都圏の観光客」をターゲットとし、日本遺産の中核をなす「岐阜城」や「ぎふ長良川の鶺鴒」をフックとした新規観光客の誘致を進めるとともに、長良川温泉や岐阜大仏、クアオルト健康ウォーキングなど、多様な既存観光資源のブラッシュアップにより、観光客の満足度向上やリピーターの獲得を目指す。

ア 各種観光展への出展

➤全国のお城好きや城郭ファンが集まる「お城E X P O 2025」へ出展し、岐阜城の魅力と日本遺産のストーリーや構成要素をPRするとともに、岐阜公園にオープン予定の「岐阜城楽市」の情報を紹介し、誘客促進を図る。

イ 商談会への参加

➤一般社団法人岐阜県観光連盟等が主催する商談会に出席し、旅行会社等に対して首都圏からの誘客を促進する。

ウ 観光キャラバンの実施

➤市内の観光関連事業者と連携し、首都圏の旅行会社等を訪問し、新たな観光施設である「岐阜城楽市」や「岐阜城」をPRするとともに、岐阜市の観光の目玉である「ぎふ長良川の鶺鴒」や「岐阜城パノラマ夜景」、「タマミヤ界限(居酒屋文化体験)」等、夜の観光コンテンツをPRし、岐阜市への誘客とともに、岐阜市での消費拡大を図る。

②名古屋都市圏からの誘客促進 **重点事業**

➤愛知県で初開催の日本最大の観光イベント「ツーリズムE X P O ジャパン2025」に出展し、岐阜市への誘客宣伝活動を行う。

➤岐阜市が推す「夜の観光コンテンツ（ナイトタイムエコノミー）」の各素材を活用し、「名古屋都市圏を中心としたアクティブな若年層」をターゲットとした取り組みを進める。

ア 各種観光展等への出展

➤名古屋を中心に、愛知県や岐阜県で開催されるイベントに出展し、「タマミヤ界限」の居酒屋文化体験や「ぎふ灯り物語」など夜の観光コンテンツを活用した誘客宣伝活動を行うとともに、「岐阜城楽市」のPRを実施する。

・岐阜県観光物産展、トラベルランド など

イ 商談会への参加

➤岐阜県観光連盟等が主催する商談会に出席し、旅行会社等に対して名古屋圏を中心とした地域からの誘客を促進する。

ウ 観光キャラバンの実施

➤岐阜市への観光客の誘致を図るため、報道各社や主要な旅行会社（代理店）を訪問し、新たな観光施設「岐阜城楽市」をはじめ、「ぎふ長良川の鵜飼」・「岐阜城」・「長良川温泉」など岐阜市の代表的な観光コンテンツをPRするとともに、「岐阜城パノラマ夜景」や「タマミヤ界限」を紹介し、岐阜市への誘客を図る。

エ 名古屋鉄道株式会社と連携したキャンペーン事業等の推進

➤「岐阜城」を中心とした岐阜市の観光スポットをめぐる「岐阜城下町きっぷ」を設定し、名古屋鉄道沿線からの誘客を図る。

➤「岐阜城楽市」への誘客を図るため、同施設を運営する名古屋鉄道グループ会社と連携し、専用WEBサイトや各種SNSを活用したPR活動を展開する。

③教育旅行の誘致活動

➤教育旅行の取り扱いを拡大するため、関東地区や関西地区の旅行会社（代理店）等に情報提供を行うとともに、市内の関係事業者と連携した誘致活動に加え、岐阜県と長良川流域の4市が連携する長良川流域観光推進協議会と連携した誘致活動を岐阜市とともに実施する。

④首都圏、名古屋都市圏以外の地域での誘客活動

➤首都圏や名古屋都市圏で開催される商談会や観光展のほか、大阪（関西圏）などで開催される商談会に参加し、旅行会社（代理店）等に対して誘客宣伝活動を行う。

2) 海外観光客の誘致 (3,258,000円)

①海外商談会等への参加 **重点事業**

➤岐阜市へのインセンティブ旅行誘致のため、JNTO主催の台湾で開催されるインセンティブ旅行商談会に参加し、訪日観光客の誘客を図る。

- 国土交通省をはじめ、J N T O、一般社団法人中央日本総合観光機構、東海地区外国人観光客誘致促進協議会が主催する各種事業に連携・参画し、訪日外国人観光客の誘客を図る。
- 岐阜県観光連盟等が主催する海外で開催される商談会に参加し、海外の旅行関係者に直接岐阜市の魅力をP Rし、一般募集团体・インセンティブ団体等の誘致を図る。

②国内での各種インバウンド関連商談会への参加

- 国内で開催される訪日インバウンド関連の商談会に積極的に参加し、訪日旅行手配会社（ランドオペレーター／D M C）等を対象に岐阜市の観光の魅力のP Rを実施する。
 - ・岐阜県インバウンド商談会（主催：岐阜県 観光国際部）
 - ・一般社団法人アジアインバウンド観光振興会（A I S O）商談会
 - ・中央日本総合観光機構商談会

③外国人観光客の誘致活動の推進 重点事業

- 岐阜市や観光関連団体等と連携し、各種S N S等を活用しながら岐阜市の魅力を海外に発信するとともに、訪日外国人観光客の効果的な誘致活動の推進及び受け入れ体制の充実を図る。
- 「ビジットG I F U協議会」の取り組みを通じて、「タマミヤ」の居酒屋文化等をP Rし、訪日外国人観光客の誘客を促進する。
- 関係する観光関連団体と連携し、在日の訪日旅行手配会社（ランドオペレーター／D M C）等を招請し、日本遺産の構成要素である「岐阜城」や1,300年以上の歴史を有する「ぎふ長良川の鵜飼」をはじめとする観光素材を実際に体感してもらうことで岐阜市の観光の魅力をより身近に感じ取ってもらい、訪日外国人観光客の誘客を促進する。

3) 鵜飼を支援する各種事業 (168,000円)

- 国内外の観光展や商談会等の機会を捉えて「ぎふ長良川の鵜飼」と「長良川うかいミュージアム」のP R活動を行う。
- 「ぎふ長良川の鵜飼」への誘客を図るため、旅行代理店への高級観覧船等のP Rや情報提供を通じて、旅行商品化に向けた取り組みを推進する。
- メディア各社に対して「ぎふ長良川の鵜飼」、「岐阜城」等をP Rし、各社の紙面に記事として掲載を要請し、誘客に繋げる。
- 岐阜長良川温泉旅館協同組合や観光関連団体と協力して、鵜飼の視察や研修を実施し誘客を図る。

4) 観光地域づくり法人の体制整備 -マーケティング調査及びその結果を活用した観光誘客策の検討-

(5,772,000円)

①地域の多様な関係者と連携した観光誘客策の検討 重点事業

- DMO本登録と宿泊税導入を見据え、未来の岐阜ツーリズム会議（3つの専門部会を含む）による協議を重ね、岐阜市への誘客及び旅行消費額の拡大に必要な観光施策を検討する。

②各種マーケティングの実施 **重点事業**

ア インバウンド誘客のためのマーケティング

- 訪日外国人観光客に関するターゲティング等の戦略策定や旅行消費額算定の基礎データを収集するため、岐阜市を訪れる外国人観光客の行動実態に関する聞き取り調査を実施する。
- 人流データ（GPS情報）を用いて、外国人観光客の来訪地、発地、属性、周遊先、旅程、滞在時間を把握するなど、岐阜市を訪問するインバウンド観光客の動向分析を行う。

イ 国内観光客誘致のためのマーケティング

- 国内誘客に関する戦略策定や旅行消費額算定の基礎データを収集するため、岐阜市を訪れる日本人観光客の特性や傾向等について、二次元コードを活用した自記式調査を実施する。
- 人流データ（GPS情報）を用いて、日本人観光客の来訪地、発地、属性、周遊ルート、旅程、滞在時間を推計し、岐阜市を訪問する日本人観光客の動向分析を行う。

ウ ホームページやSNS等のアクセス状況等の調査

- 閲覧者の興味関心を把握し、適切な情報発信を行うため、Googleアナリティクスなどの解析ツールを活用したデータの収集・分析を継続する。

6. 鶺鴒等への招請事業 【予算額 345,000円】

- 国内外のコンベンション主催者や観光関係者を「ぎふ長良川の鶺鴒」に招待し、コンベンション施設や観光スポット等のPRによる誘致活動を実施する。

- ・鶺鴒開き招待 5月11日
- ・コンベンション主催者・観光関係者招待 随時

7. 誘致資料・宣伝物等作成、広告掲出事業 【予算額 12,883,000円】

①WEBサイトや各種SNSを活用した情報提供の推進

- 観光客やMICE誘致を推進するため、関連するWEBサイトや各種SNSを活用したより分かりやすい情報提供を行う。

②観光パンフレット・ポスターの作成・発行

- 観光マップ・観光パンフレットを整備し、誘客活動に活用する。
- 岐阜市の観光資源や岐阜市の魅力を国内外にアピールできる観光ポスターを作成する。
- 電子媒体での観光マップ・観光パンフレットの整備を進め、ホームページ等で活用する。

③営業用ツールの作成

➤主要な観光ルートや受入体制等を紹介するセールスツールを随時作成し、商談会等の誘客セールスに活用する。

④マスメディアを利用した広告宣伝(新聞、雑誌、テレビ等)

⑤インターネットを利用した広告宣伝

➤各種旅行サイト等へ岐阜市の観光情報の掲載により観光客の誘致を図る。
➤岐阜市の最新情報を多くの人に提供できるよう、協会ホームページや各種SNSを活用して観光宣伝及び情報発信を行う。

⑥歓迎看板の掲出

➤JR岐阜駅構内に観光歓迎看板を掲出し、国内外からの観光客へのおもてなしを図る。

⑦バスボディを活用した観光宣伝(岐阜バス、JR高速バスのラッピング)

➤岐阜バス及びJR高速バスへのラッピングによる誘客宣伝を実施する。

⑧ノベルティグッズ等の作成、配布

⑨取材協力(新聞、雑誌、テレビ等)

➤メディア各社からの取材要請に応えるとともに、メディア各社に対して取材を要請して岐阜市の魅力を発信することにあわせ、岐阜市ぎふ魅力づくり推進部 ロケツアーリズム推進室と連携し、岐阜市のPRを実施する。

8. 行事等の開催、協賛事業【予算額 3,208,000円】

主な観光関連事業およびイベント

- ・道三まつり・道三公追悼式(4月5・6日)
- ・高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン(4月26・27日)
- ・岐阜城パノラマ夜景(G/W、夏休み、秋季・春季など期間限定)
- ・鶺鴒安全祈願祭・長良川鶺鴒開き(5月11日)
- ・長良川まつり・鮎供養(7月16日)
- ・ぎふ長良川花火大会(8月9日)
- ・鶺鴒供養(10月19日)
- ・ぎふ信長まつり・信長公追悼式(11月1・2日)
- ・鶺鴒乗船者プレゼント(5万人目、10万人目)
- ・池ノ上みそぎ祭(12月13日)
- ・ぎふ灯り物語(令和8年1月)
- ・玉性院節分つり込み祭(令和8年2月上旬)
- ・梅まつり(令和8年3月上旬)

9. ホームページ等による情報提供 **重点事業**【予算額 517,000円】

➤岐阜市で行われるイベント等の情報が集約できる体制を構築し、ホームページのほか、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを活用し、岐阜市への来訪意欲を高める情報提供を促進する。

10. 「ぎふ長良川メイツ」の派遣・活用 【予算額 797,000円】

➤岐阜の観光宣伝及び都市のイメージアップを図るため、3名の「ぎふ長良川メイツ」を各種イベント・事業に派遣し、観光宣伝を行うほか、SNSを活用した情報発信を行う。(第11期生/委嘱期間:令和7~8年度)

11. 岐阜市観光フォトコンテスト 【予算額 918,000円】

➤岐阜市のイメージアップを図り、観光振興に活かすことを目的に岐阜市の観光資源をテーマにしたフォトコンテストを実施する。

※これまでの写真作品での応募に加え、インスタグラムを利用した応募も受け付け、フォロワー数の増大を図るとともに、岐阜市の新たな魅力を発掘する。

12. 近隣自治体や観光団体等と連携した観光推進事業 【予算額 250,000円】

➤岐阜県や岐阜県観光連盟、中央日本総合観光機構等と連携し、広域的な観光PR、誘客宣伝を行う。

➤ぎふ歴史遺産活用推進協議会、岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会等の活動と連携し、岐阜市のPR活動を行う。

13. ホスピタリティを醸成するための講座・セミナーの実施事業

【予算額 780,000円】

1) ホスピタリティ講演会の開催

➤岐阜市民や市内の事業者を対象に、観光やコンベンションで岐阜市を訪れる方を温かくお迎えする「おもてなしの心」を醸成するため、ホスピタリティ講演会を開催する。

・日 時: 令和8年2月(予定)

14. 観光情報の収集・活用事業

➤岐阜市周辺地域の観光情報や、岐阜市で開催されるイベント等の情報を収集・整理し活用する。また、新しい観光資源の発掘や観光ルートの研究、産業観光や体験観光に関する情報収集を行う。

15. 観光施設等運営事業 【予算額 16,392,000円】

1) 岐阜市観光案内所

➤各種観光情報の発信及び観光案内サービスの一層の充実に努め、県都のゲートウェイにふさわしい岐阜市観光案内所の運営管理を行うとともに、来訪者に喜ばれる各種サービスを常に心掛けるとともに、更なるサービスの向上を図る。

II 収益事業

1. 手配旅行 【予算額 13,692,000 円】

1) 鵜飼観覧船事業 (13,692,000 円)

➤鵜飼観覧船乗船客数の増加を図るため、鵜飼観覧船の乗船料と弁当をセットにした鵜飼パック商品（おまかせパック・おまかせパックデラックス）を販売し、「ぎふ長良川の鵜飼」を支援する。（開幕中の火曜日から金曜日：特定日を除く）

※今年度から利用者の利便性の向上と集客アップを図るためインターネット予約受付を開始する。

2) その他旅行関連事業

➤国内外の旅行会社・旅行社より受ける問い合わせに応じ、岐阜エリアに関する各種手配（ランド手配）業務を受注し、国内外の旅行業社の代理店としての役割を担うとともに、誘客促進を図る。

2. 企画旅行

1) 募集型商品事業

➤協会企画の旅行商品をパッケージ化し、国内外の旅行社に販売する。

2) 受注型商品事業

➤岐阜市が企画立案するプランを旅行商品化し、全国の旅行社に販売促進する。

III その他の事業

1. 救急救命講座の開催 【予算額 6,000 円】

➤コンベンション施設や宿泊施設等の賛助会員を対象に、AEDの取り扱いや心肺蘇生法等の救急救命講習会を実施する。

2. 観光コンベンション功労団体・功労者、優良従業員の表彰

【予算額 232,000 円】

➤コンベンション及び観光事業の発展と振興に尽力し、その功績が特に顕著であった者や団体並びに賛助会員の優良従業員を表彰する。

- ・日 時：令和8年2月（予定）
- ・被表彰者：功労団体、功労者、優良従業員